

第6学年 社会科学習指導案

時間・場所 校時 6年2組教室

学級 6年2組34名（男子15名、女子19名）

授業者 金子 徹也

1 単元名 平和で豊かな暮らしを旨として

2 単元目標

- ・ 戦後、人々がどのような願いをもち、どのような社会を旨としていったのかについて関心をもち、積極的に調べようとしている。 【関心・意欲・態度】
- ・ 産業や経済の発展と、社会や人々の暮らしの変化とを関連づけて考えることができる。 【思考・判断・表現】
- ・ 戦後の社会や暮らしの変化について、資料を読み取ったり身近な人から聞き取りをしたりして調べ、まとめることができる。 【観察・資料活用の技能】
- ・ 国民生活が向上したことや、国際社会の中で日本が重要な役割を果たしてきたことを理解することができる。 【知識・理解】

3 児童生徒について

児童は、4月から行った歴史学習に興味をもって学習に取り組んでおり、普段から予習や復習を行ったり、歴史に関する本を読んだりする児童も多い。発表はまだまだであるが、キーワードを元に少しずつ自分の力で課題解決に向けて努力するようになってきた。しかし、なかなか自分の考えに自信が持てず、上手く話し合っまとめたり、折り合いをつけたりする力が弱いところがある。

4 指導計画

- (1) 戦争が終わったころの暮らしの様子や人々の願いを調べ、戦後、どのような社会が旨されたのかについて調べていく学習問題を設定する。……………1時間
- (2) 日本国憲法が制定され、さまざまな改革が進められていく過程を調べ、日本が旨した新しい社会の在り方について考える。……………1時間
- (3) 日本が独立を回復したことや東京オリンピックが開催されたことなどを調べ、日本が国際社会に復帰した過程を理解する。……………1時間（本時1／6）
- (4) 産業や経済が急速に発展した様子を調べ、それに関連して社会の様子や人々の暮らしがどのように変化していったのかを考える。……………1時間
- (5) 歴史の学習をふり返り、戦後の近隣諸国との関係や残された課題について調べ、現在やこれからの社会の在り方について考える。……………2時間

5 本時について

(1) 目標

日本が独立を回復したことや東京オリンピックが開催されたことなどを調べ、日本が国際社会に復帰した過程を理解することができる。

(2) 本時の評価規準

【思考・表現】

戦後、約20年経過して行われた東京オリンピックの意義について、当時の日本の人々の気持

終 末 8 分	4 課題のまとめ	
	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習内容をまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>日本は、1951年に独立を回復し、その後国際連合にも加入して、敗戦から20年足らずで国際的な大会を開くまでになった。</p> </div>	
	5 学習の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 日本が独立を回復し、その後も東京オリンピックを開催するまでに国際社会での地位を向上させていった経緯を理解している。 <p style="text-align: center;">【知識・理解→ノート・発言】</p>
6 次時の予告をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・次時は産業の発展と国民生活の変化について学習することを伝える。 	